



令和3年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年2月12日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員社長室長 (氏名) 山田 秀樹

TEL 0256-33-3987

四半期報告書提出予定日 令和3年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	50,561	9.3	1,341	29.3	1,428	28.2	807	16.5
2年3月期第3四半期	46,256	6.2	1,037	18.4	1,114	18.4	693	25.2

(注)包括利益 3年3月期第3四半期 1,023百万円 (30.6%) 2年3月期第3四半期 783百万円 (62.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第3四半期	85.15	—
2年3月期第3四半期	70.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期第3四半期	19,599	8,087	41.3	859.14
2年3月期	18,864	7,607	40.3	772.83

(参考)自己資本 3年3月期第3四半期 8,087百万円 2年3月期 7,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
3年3月期	—	7.00	—	—	—
3年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,400	7.1	1,430	11.9	1,520	9.7	790	△5.5	83.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年3月期3Q	10,833,000 株	2年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	3年3月期3Q	1,419,189 株	2年3月期	989,140 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3年3月期3Q	9,482,627 株	2年3月期3Q	9,843,879 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により停滞を余儀なくされ、緊急事態宣言の解除後は政府や自治体による個人消費を底上げする政策や各種キャンペーン等により持ち直しの傾向も見られました。しかしながら、11月頃より再び感染症拡大による経済活動への懸念が広がったため、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましても、コロナ禍における外出自粛の動きから内食需要が増加した反面、物流コストや食品原価の高騰、人件費関連コストの増加など依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループはお客様と従業員の安全・安心を最優先し、感染症拡大防止に向け、災害対策本部が主体となり衛生管理に努め、従業員に対する行動指針を随時更新し周知するなどの対策を講じるとともに、業務の効率化と販売チャネルの拡大を目指してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は505億61百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は13億41百万円（前年同期比29.3%増）、経常利益は14億28百万円（前年同期比28.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億7百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、お盆や年末年始の帰省といった年中行事の自粛が相次ぎ、本来あるべき需要は減少しましたが、感染症拡大防止のための外出自粛により家庭内での内食需要は高まり、業務用商品や青果・精肉類のまとめ買いにより好調に推移いたしました。また、経費面におきましては、人員増と時給単価の引き上げによる人件費の増加があったものの、感染症拡大防止の観点による集客抑制のためチラシ等を自粛したことにより広告宣伝費が大幅に削減され、加えて原油相場安により光熱費も減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は187億28百万円（前年同期比6.4%増）、セグメント利益は6億45百万円（前年同期比69.0%増）となりました。

(業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、飲食店の営業自粛やイベントの中止に伴う業者への需要減少はありましたが、メールマガジンの会員向けにお買い得情報を配信したことによる集客効果、多くのメディアに取り上げられていることによる知名度の上昇、及びコロナ禍における内食需要の高まりから一般消費者の利用頻度は大幅に増加しました。また、11月に新潟県で8店舗目となる「業務スーパー村上店」（新潟県村上市）をオープンいたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は220億90百万円（前年同期比17.1%増）、セグメント利益は8億60百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

(弁当給食事業)

弁当給食事業につきましては、コロナ禍における営業活動に回復の兆しが見えたものの、感染症が再び拡大し、在宅勤務の増加や学校の休校等により販売食数は減少しました。また、内食需要の高まりから千葉工場における食品スーパー向け惣菜の受託量は大幅に増加しましたが、事業所向け宅配弁当の食数減少分を補うまでには至りませんでした。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は58億36百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は1億95百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

(食材宅配事業)

食材宅配事業につきましては、一般家庭向け食材セット「すまいるごはん」の販売数は内食需要に支えられ前年度を上回り、ケアハウスや福祉施設などへの食材販売を行う「ヨシケイキッチン」の契約施設数も順調に増加しました。また、ネット注文やキャッシュレス決済を推進し、利便性の向上及び業務の効率化へと繋げてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は36億46百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益は1億60百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館、その他事業につきましては、「GoToトラベル」や「GoToEat」といった政府主導の政策が開始され、一時的に売上は回復したものの、11月以降の感染症の再拡大により予約のキャンセルが相次いで発生しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は2億58百万円(前年同期比49.2%減)、セグメント損失は1億30百万円(前年同期はセグメント損失36百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億34百万円増加し、195億99百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3億85百万円減少しましたが、商品が3億86百万円、売掛金が2億28百万円及び有形固定資産が2億39百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億53百万円増加し、115億11百万円となりました。これは主に、長期借入金が4億1百万円減少しましたが、買掛金が7億12百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億80百万円増加し、80億87百万円となりました。これは主に、自己株式が4億18百万円増加しましたが、利益剰余金が6億82百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇し、41.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の連結及び個別の業績予想につきましては、現時点では令和2年11月10日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,215,429	2,829,687
売掛金	1,743,681	1,972,537
商品	1,473,507	1,860,122
原材料及び貯蔵品	130,990	138,625
その他	502,734	684,070
貸倒引当金	△2,155	△2,216
流動資産合計	7,064,189	7,482,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,928,957	4,978,067
土地	3,241,265	3,245,945
その他（純額）	855,051	1,040,654
有形固定資産合計	9,025,274	9,264,666
無形固定資産		
のれん	185,029	136,366
その他	277,963	267,347
無形固定資産合計	462,992	403,714
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	37,018	36,579
その他	2,278,265	2,412,661
貸倒引当金	△2,824	△1,447
投資その他の資産合計	2,312,460	2,447,793
固定資産合計	11,800,727	12,116,174
資産合計	18,864,917	19,599,001
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,729,390	4,442,333
短期借入金	828,448	888,448
未払法人税等	318,338	250,471
賞与引当金	219,342	92,604
その他	1,947,522	1,901,982
流動負債合計	7,043,041	7,575,839
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	2,071,324	1,669,988
リース債務	362,110	455,784
退職給付に係る負債	11,231	6,501
役員退職慰労引当金	149,270	173,490
資産除去債務	651,683	682,951
その他	368,604	346,624
固定負債合計	4,214,224	3,935,339
負債合計	11,257,265	11,511,179

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	7,098,990	7,781,481
自己株式	△751,670	△1,169,681
株主資本合計	7,515,811	7,780,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	144,614	348,826
退職給付に係る調整累計額	△52,774	△41,296
その他の包括利益累計額合計	91,840	307,530
純資産合計	7,607,651	8,087,822
負債純資産合計	18,864,917	19,599,001

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自令和2年4月1日 至令和2年12月31日）
売上高	46,256,512	50,561,149
売上原価	35,032,352	38,496,867
売上総利益	11,224,159	12,064,282
販売費及び一般管理費	10,186,855	10,722,681
営業利益	1,037,303	1,341,600
営業外収益		
受取利息	57	182
受取配当金	10,376	10,376
不動産取得税還付金	16,160	—
その他	82,106	109,127
営業外収益合計	108,700	119,686
営業外費用		
支払利息	17,803	15,818
その他	13,540	17,003
営業外費用合計	31,344	32,822
経常利益	1,114,660	1,428,464
特別利益		
固定資産売却益	35,928	—
その他	1,583	—
特別利益合計	37,512	—
特別損失		
固定資産除却損	12,615	11,354
投資有価証券評価損	—	132,997
店舗閉鎖損失	15,541	9,455
その他	7,197	4,498
特別損失合計	35,354	158,304
税金等調整前四半期純利益	1,116,818	1,270,160
法人税、住民税及び事業税	302,942	457,744
法人税等調整額	120,737	4,964
法人税等合計	423,679	462,709
四半期純利益	693,138	807,451
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	693,138	807,451

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自令和2年4月1日 至令和2年12月31日）
四半期純利益	693,138	807,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87,284	204,212
退職給付に係る調整額	2,771	11,478
その他の包括利益合計	90,056	215,690
四半期包括利益	783,194	1,023,141
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	783,194	1,023,141
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	17,600,112	18,858,927	5,909,703	3,378,610	509,157	46,256,512	—	46,256,512
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,763	232	158,055	13,212	2,390	175,654	△175,654	—
計	17,601,876	18,859,160	6,067,758	3,391,822	511,548	46,432,166	△175,654	46,256,512
セグメント利益 又は損失(△)	381,829	663,945	261,233	152,778	△36,402	1,423,383	△386,079	1,037,303

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△386,079千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△386,870千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	18,728,715	22,090,889	5,836,444	3,646,513	258,585	50,561,149	—	50,561,149
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	656	595	162,958	14,160	683	179,054	△179,054	—
計	18,729,372	22,091,485	5,999,402	3,660,674	259,269	50,740,203	△179,054	50,561,149
セグメント利益 又は損失（△）	645,319	860,083	195,947	160,589	△130,671	1,731,268	△389,667	1,341,600

(注) 1 セグメント利益又は損失（△）の調整額△389,667千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△390,094千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。